

西日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 来島達夫 殿

要 望 書

- 1 敦賀駅の利便性、快適性及び安全性の確保
- 2 新快速電車の運行ダイヤ改善

平成30年2月
敦 賀 市

日頃は、本市における重要な公共交通機関である旅客鉄道の運行整備等に御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では北陸新幹線敦賀開業に向け、賑わい創出に向けた取組を進めており、先般、全国で10地区の「景観まちづくり刷新モデル地区」のひとつに選定されました。今後3年間で、敦賀が世界に誇れる地域資源である「人道の港」交流施設や敦賀駅交流施設直結の駅前立体駐車場等の整備及び気比神宮につながる国道8号線の道路空間美装化を実施し、敦賀の魅力をもっと向上させていきます。

しかしながら、これらの取組効果を深化させるためには、貴社の御協力、御支援が不可欠であります。

敦賀駅では直流化開業に伴い、関西圏から多くの方々に御利用をいただいております。特に、本年夏頃に導入予定と聞いているICカード対応可能な自動改札機については、敦賀駅の更なる交流拡大につながることで、貴社の御支援に心から感謝しております。

また、本市においては、福井県美浜町、南越前町、滋賀県長浜市、米原市、高島市との広域的かつ一体的な経済圏・生活圏の形成を目指すハーモニアスポリス構想を策定中であります。北陸新幹線敦賀開業は、そうした周辺市町からも大きな注目を浴びておりますが、その開業効果の波及や最大化のためには、新幹線敦賀駅が快適かつ便利に御利用いただける施設であるとともに、周辺市町を含めた広域的な情報の発信拠点機能を有することが重要であります。

さらに、関西圏を結ぶ新快速電車につきましても、市民等から運行ダイヤを改善し利便性を向上してほしいとの声もあり、交流拡大に向けた課題のひとつとなっております。

つきましては、次に掲げました事項について特段の御配慮を賜りたく、ここに強く要望いたします。

平成30年 2月 5日

敦賀市長 淵 上 隆 信

1 敦賀駅の利便性、快適性及び安全性の確保

- (1) 動く歩道を含めた乗換連絡通路の円滑な管理運営
- (2) 新幹線駅舎コンコース内の拠点機能強化
 - ・ 広域的な観光案内ブース等の設置協力
 - ・ 駅利用者の安全安心につながる鉄道警察隊詰所の設置
- (3) わかりやすい名称を用いた東西出入り口への案内サイン
- (4) 利用者が安全かつ快適に移動できるホームドア位置や昇降設備（エスカレータ等）の検討

2 新快速電車の運行ダイヤ改善

- (1) 敦賀市民の京阪神方面への利便性向上
 - ・ 敦賀発 7時から9時までの間に1便を増発(上り)
 - ・ 大阪発 19時台または20時台に最終便を増発(下り)
- (2) 京阪神からの観光客及び通学・通勤者の利便性向上
 - ・ 敦賀着 8時台に第1便を増発(下り)
 - ・ 敦賀発 20時台の最終便を増発(上り)